

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

### (1)基本目標

「人間尊重の精神」を基盤に、激しい変化が予想される21世紀社会の担い手として、「心身共に健康で、主体的に考え表現でき、粘り強くがんばりぬき、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を図る。

### (2)具体目標（目指す児童像）

- ・進んで学びよく考える子ども（学びの主体性、知識・技能、思考・判断・表現）
- ・思いやりがあり心豊かな子ども（生命尊重、豊かな心情）
- ・元気でがんばる子ども（心身の健康、たくましさ）

《児童の合言葉 「かしこく なかよく たくましく」》

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（目指す学校像） 活気のある 学び合う 保護者・地域と共に歩む

（目指す教職員像） 教育愛のある 子供と共に歩む 互いに高め合う

学校は共に学ぶ場である。これからの社会では、変化を前向きに受け止め、多様な人々と協働しながら価値を創造したり、持続可能な社会の創り手として社会の形成に参画したりすることが重要となり、自分から進んで他者と関わり、異なる考えから新たな発想を生み出すような創造的な学びが求められている。そのためには、安全な学校生活が送れるように整備された、ゆとりと潤いのある環境のもとで、児童が学び合い、高め合うことができるようにしたい。その結果、児童一人一人の中に自己実現の喜びや自己肯定感などが生まれ、児童の笑顔をみることができると期待する。また、児童だけが共に学び合うだけでなく、その成長を支える教職員も保護者も共に学び育ち合う場としての学校でありたい。共に学び合い、成長していく場としての学校づくりが重要である。

この基本理念を達成するためには、教職員一人一人が教育公務員としての高い使命感のもと、組織の一員としての自覚を持ち、互いに切磋琢磨し、学校教育目標の達成に向けて一致協力して諸活動に取り組む姿勢が望まれる。また、積極的な情報発信に基づく深い共通理解のもと、保護者や地域との連携を一層推進し、地域に根ざした特色ある教育活動を展開することが求められている。さらには、本市「小中一貫教育」の基本理念を踏まえて、地域学校園間での連携を中核とした異校種間交流の推進も重要である。

学校経営の理念「共に学び合う学校づくり」を軸とし、次項目のような経営方針を設定し、それらを具体化するために「確かな学力の向上」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」、「好ましい生活態度の涵養」、「保護者・地域との連携」、「教職員の資質・能力の向上」に取り組み、施設の安全管理・予算の適切な運用に基づきながら教育目標の具現化を目指すことにする。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 児童及び地域の実態を踏まえ、知・徳・体の調和を図りながら、社会に開かれた教育課程を編成して資質・能力を育み、教育目標の実現に努める。
- (2) 教職員の共通理解のもと、児童がよさや自主性を発揮したり協働したりできる学校づくりに努める。
- (3) 職員が日々の研究と修養に努めることを推進するとともに、同僚性と自律性を基盤にした職場づくりに努める。
- (4) ○地域学校園内の小中学校及び地域との連携を深め、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導の充実に努める。
- (5) 地域とともにある学校づくりを推進し、家庭・地域・関係機関との連携協力体制の強化に努める
- (6) 学校教育目標達成のために、校内業務の適正化(明確化や簡略化等)を図り、教職員の健康安全を大切にし、指導の質的向上に配慮しつつ持続可能な学校体制づくりに努める。

### [豊郷地域学校園教育ビジョン]

- ・学力の向上と学習態度・習慣の確立
- ・豊かな心と社会性の育成
- ・健やかな体の育成と活力ある生活の確立
- ・活気あふれる学校づくりの推進と地域・家庭との相互連携・協力

#### 4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び同施行規則、小学校学習指導要領、栃木県・宇都宮市教育委員会の方針、第2次宇都宮市学校教育推進計画、第2次宇都宮市学校教育スタンダード、小中一貫教育・豊郷地域学校園の示すところに従うとともに、本校の教育目標達成のための経営方針、本年度の本校の重点目標等を十分踏まえて編成する。
- (2) 児童の発達段階や各教科領域の特性を踏まえ、全教育活動を通して「心身ともに健康で、主体的に考え表現でき、粘り強くがんばりぬき、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を目指した教育課程を編成する。
- (3) 社会の変化に主体的に対応できる能力の育成や創造力の伸長を重視し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題解決する資質や能力を育てる教育課程を編成する。
- (4) 本校創立以来149年の歴史と伝統を踏まえ、学校・地域の特色、児童の実態などを考慮し、創意工夫された教育活動を展開することによって、人間性豊かな児童の育成を目指す。
- (5) 「地域から学ぶ学校」をテーマとして、特色ある学校づくりに取り組み、地域人材や地域素材の積極的な活用による体験活動を推進する。
- (6) 基礎・基本の定着と本校の特色を生かした教育の実施に向け、学習指導法の工夫・改善を図る。
- (7) 「社会的な変化を視野に入れ、それに対応できる資質・能力を身に付ける」という視点から、教育活動全般を見直しその改善に努める。

#### 5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

##### 【学校運営】

- ・ 学校経営のビジョンを教職員で共通理解し、課題に対して協働して取り組む体制づくりを進める。
- 学校園の教育活動における小中一貫教育の取組を推進する。

##### 【学習指導】

- ・ 授業のねらいを明確化し、主体的・対話的で深い学びを通して資質・能力を育成する授業づくり学び合う授業づくりに取り組み、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養に努める。
- 家庭学習習慣の定着を図る。

##### 【児童生徒指導】

- あいさつや時と場に応じた言葉遣いなど、きまりやマナーを守る児童を育成する。
- ・ 児童の自己肯定感を高めたり、感謝の心を育んだりする。
- ・ 縦割り班活動や学級経営を通して適切な人間関係づくりを推進し、不適応やいじめ防止に努める。

##### 【健康（体力・保健・食・安全）】

- 夏季の水泳、秋の持久走、冬季のなわとびの各種検定を実施し、教育活動全体を通して児童の発達段階に応じた日常における体育的指導の充実に努める。
- ・ 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの予防に努める。また、日常の指導に加え、交通安全教室や地震・火災・竜巻・不審者対応の避難訓練などを実施し、児童の危機回避能力の向上に努める。

#### 6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒ 児童 85%以上	・ 子供たちの興味・関心が高まる教材や資料の提示、単元展開の工夫を行う。 ・ 自分の考えをもてるようにするための時間と場の確保と1人1台端末やワークシートなど表現方法の工夫を行う。 ・ 個人の学びを集団で練り上げる学び合いの場面では、比較・関係付け・分類・統合等の視点を大切に、対話的で深い学びへと導く。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答率 94.5% 数値指標より9.5ポイント増 【次年度の方針】 ・ 今後も、学び方の具体的な方策を示したり、安心して自分の考えを表現できるような工夫をしたりするなど、児童が主体的に学び合う環境づくりを行うことで、対話的な学びを進めていく。
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優	・ 自分の考えをもつとともに相手の考えや思いを尊重し、相互に共有し、高め合える関係づくりに努める。 ・ 道徳科や学級活動などで、いじめや生命尊重、自他との関係を題材とした授業	B	【達成状況】 児童の肯定的回答率 92.2% 昨年度より2.4ポイント減 【次年度の方針】 ・ 今後も継続し、学校全体で互いに支え合い

目 指 す 児 童 の 姿	<p>しく接している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>を実施する。 ・互いに支え合い励まし合える雰囲気づくりに努める。また、親切な言動は称賛して思いやりの心を育む。</p>	<p>励まし合える雰囲気づくりに努め、思いやりの心を育てていく。</p>
	<p>A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・「みんなのやくそく」の項目を生活目標に反映させ、朝の会等で確認し合うなど意識付けすることにより、基本的な生活習慣の定着を図る。 ・道徳科の授業の充実を図るだけでなく、日常生活の中でもきまりを守ることの大切さに気付かせる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 89.7% 昨年度より0.3ポイント増 【次年度の方針】 ・今後も継続し、きまりを守ることや、マナーを意識させていくための指導の工夫改善を全職員で取り組んでいく。</p>
	<p>A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・地域協議会や学校園などの地域ぐるみのあいさつ運動を展開するとともに、校内でも生活向上委員会を中心に「あいさつ運動」を実施したり、教職員が進んであいさつしたりすることにより、進んであいさつができるような雰囲気づくりに努める。 ・道徳科や学級活動の時間に、あいさつや礼儀について取り上げ、その大切さに気付かせながら理解を深める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 95.1% 昨年度より1.2ポイント増 【次年度の方針】 ・生活向上委員会を中心としたあいさつ運動や放送、小中合同あいさつ運動を継続して実施していく。</p>
	<p>A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・学期ごとの学習や生活のめあてを立て、目標達成に向けあきらめずに取り組めるよう、励ましながら支援する。 ・道徳科の授業などにおいて、自分のよさや適性、将来の夢や目標について考えさせる。また、それに向かって努力することの大切さ、その尊さについて気付かせる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 91.0% 昨年度より0.4ポイント減 【次年度の方針】 ・今後も学期ごとにめあてを立てるとともに、定期的に振り返り、達成するためには何が必要なのかを考えたり、目標に向かって粘り強く取り組んでいる児童を称賛したりして引き続き指導していく。</p>
	<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・地域学校園の食育推進と、家庭との連携協力により、地域の食材への関心や栄養に関する知識を深め、食に対する意識を高める。 ・ドッジボール大会・豊央ランナー、大縄大会の実施や各種検定の実施、「豊央サーキット」の実施などにより、体力の向上を図る。 ・交通安全教室、避難訓練、引渡し訓練を通して、正しい判断力と危機回避能力を育成する。 ・児童が、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする様々な健康・安全に関する正しい知識を習得し、それを生活に結び付けることができるよう、児童の実態や地域の状況に応じて、迅速な対応・指導を行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 93.8% 数値指標より8.8ポイント増 昨年度より0.8ポイント減 【次年度の方針】 ・地域学校園の食育推進と、家庭との連携協力により、地域の食材への関心や栄養に関する知識を深め、食に対する意識を高める。 ・「豊央ランナー」や各種検定の実施、「豊央サーキット」の実施などにより、体力の向上を図る。 ・交通安全教室、避難訓練を通して、正しい判断力と危機回避能力を育成する。 ・児童が、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする様々な健康・安全に関する正しい知識を習得し、それを生活に結び付けることができるよう、児童の実態や地域の状況に応じて、迅速な対応・指導を行う。 ・数値指標を児童90%以上に?</p>
	<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力してい</p>	<p>・自立意欲や社会性を育成するための基礎づくりを通して、キャリア教育を推進し、他者と積極的に関わることや社会的</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 91.0% 昨年度より0.4ポイント減</p>

<p>る。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>関心を高められるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会に、自分の役割を果たして最後までやり遂げ、達成感を味わえるような支援を心掛ける。</li> </ul>	<p><b>【次年度の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地域の人材を活用する取り組みを各学年で行い、他者と積極的に関わる機会を設け、児童の社会的関心を高めていく。</li> <li>・各学級で一人一役の当番活動を行う等、自分の役割を果たす達成感を味わえるように支援していく。</li> </ul>
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語や外国語活動の授業を通して、英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</li> <li>・授業以外でも、休み時間や清掃活動や学校行事など、あらゆる場面でALTを活用し、生きた英語に触れる機会の充実を図る。</li> </ul>	<p><b>【達成状況】</b> 児童の肯定的回答率 92.0% 数値指標より7.0%ポイント増</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帝京大や北高の留学生との交流活動を継続し、児童が積極的に英語でやり取りできるように支援する。また、外国語活動、外国語科の充実を図り、児童が英語を話してみたいと思えるような授業を展開する。また、ALTを活用し、授業以外でも英語でやりとりできるよう支援する。</li> </ul>
<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科や社会科、総合的な学習の時間など、地域を教材に扱った学習の充実を図る。</li> <li>・宇都宮の歴史や伝統文化、産業や特産物などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるよう指導する。</li> </ul>	<p><b>【達成状況】</b> 児童の肯定的回答率 84.2% 数値指標より4.2ポイント増</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も「宇都宮学」の学習を通して、知識理解を深め、郷土への愛情や誇りをもてる指導を継続して行う。</li> </ul>
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末をはじめとするICT機器の積極的な活用により、情報活用能力の育成を図る。</li> <li>・授業をはじめ様々な場面で、新聞や図書資料を気軽に活用できる環境の充実を図る。</li> <li>・プログラミング教育の推進を図る。</li> </ul>	<p><b>【達成状況】</b> 児童の肯定的回答率 87.0% 数値指標より2.0ポイント増 昨年度より1.9ポイント減</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末をはじめとするICT機器の積極的な活用により、情報活用能力の育成を図る。</li> <li>・授業をはじめ様々な場面で、新聞や図書資料を気軽に活用できる環境の充実を図る。</li> <li>・プログラミング教育の推進を図る。</li> </ul>
<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊老連をはじめとする地域の高齢者と交流する機会を設け、相手への思いやりや感謝の気持ち、敬う心などを育む。</li> <li>・時と場に応じたあいさつや言葉遣いができるよう指導を図る。</li> <li>・道徳科や学級活動の時間に、思いやりや感謝について取り上げ、その大切さに気付かせながら理解を深める。</li> </ul>	<p><b>【達成状況】</b> 児童の肯定的回答率 92.2% 昨年度より2.4ポイント減</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、生活科や総合的な学習の時間を通して交流を深め、高齢者を敬う心を育んでいく。また、交通ボランティア等で普段からお世話になっていることも意識付けを図り、感謝の会等でその気持ちが伝えられるようにしていく。</li> </ul>
<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に対する関心を高め、自然とのふれあい体験を重視するとともに、環境に対する問題意識をもたせ、問題解決に取り組む実践的な態度を育成する。</li> <li>・総合的な学習の時間等を活用し、環境問題や国際理解、防災などをテーマ通して地域や世界の学習素材を活かしながら、教科の枠を超えた横断的、総合的な</li> </ul>	<p><b>【達成状況】</b> 児童の肯定的回答率 89.9% 数値指標より9.9ポイント増</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会について教科学習の中で意識づけを図るとともに、教科学習で得た知識を横断的な学習や実生活に生かせるような場の設定を行うことで、特に環境問題</li> </ul>

<p>における肯定的回答 ⇒児童 80%以上</p> <p>B1 児童は、家庭学習や自主学習の習慣が身に付いている。 【数値指標】 「児童は、宿題など家庭での学習を忘れずにやっている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p> <p>B2 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上</p>	<p>カリキュラムの開発・実践を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に合った内容や量の宿題を出したり、発達段階に応じた自主学習の内容・方法について、例などを示しながら具体的に指導したりする。</li> <li>・テレビやゲームの時間について、学年だよりなど、様々な機会に家庭に通知し、学校と保護者の共通理解のもと、指導を行う。</li> <li>・業間や昼休みを通して外遊びや学級の共遊を推奨するなどし、運動の習慣化を図る。</li> <li>・「豊央サーキット」や各種検定カードの実践、ミニマム達成に向けた取組などを通して運動の習慣化に努める。</li> <li>・コロナ禍ではあるが、可能な運動を実施できるよう、努めていく。</li> </ul>	<p>や防災に対する意識を高められるようにする。</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 90.5% 数値指標より5.5ポイント増 【次年度の方針】 ・今後も、児童が自主的に学習に取り組めるように具体的な内容や方法を示したり、手本となる取り組みを伝えたりしていき、家庭学習の過程や成果を称賛しながら意欲を高めていく。また、その様子を保護者にも伝える。</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 79.3% 数値指標より0.7ポイント減 昨年度より0.4ポイント増 【次年度の方針】 ・業間や昼休みを通して外遊びや学級の共遊を推奨するなどし、運動の習慣化を図る。 ・コロナ禍ではあるが、可能な運動を実施できるよう、努めていく。</p>
<p>目 指 す 学 校 の 姿</p> <p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p> <p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p> <p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 における肯定的回答</p>	<p>・教育上特別な支援を必要とする児童に対して実態把握を行い、合理的配慮が提供できるよう、学校全体で支援する体制づくりに努める。</p> <p>・校内支援委員会の組織を活用し、かがやきルームの効果的な運営や、支援チーム等の支援体制を整えとともに、学校と家庭及び関係機関との連携を推進する。</p> <p>・全教職員共通理解の下、いじめは絶対に許されないことを指導するとともに、児童の小さな変化にも心を配り、いじめの早期発見・早期対応に努める。</p> <p>・いじめゼロ強化月間等を活用し、道徳科や学級活動などでいじめや生命尊重、自他との関係を題材とした授業を行うことにより、望ましい集団づくりを心掛ける。</p> <p>・職員会議・研修を活用し、全教職員が共通理解のもと不登校を未然に防ぐよう積極的に関わるとともに、兆候が見られた場合はケース会議を開き、全校体制で支援する。</p> <p>・日常の児童観察、Q-U調査、いじめアンケート、教育相談を活用し、職員間の情報交換・共有、保護者との連携を図り、不登校を未然に防ぐよう努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 100% 数値指標より15.0ポイント増 昨年度より2.7ポイント増 【次年度の方針】 ・校内支援委員会を有効活用したり、特別支援コーディネーターからの様々な情報提供により、支援を必要とする児童への対応力を向上させたりしていく。 ・担任及びかがやきルーム指導員、保護者との共通理解を深めたり、関連機関と連携したりしながら、より一層、支援体制を高めていく。</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 98.2% 昨年度より0.1ポイント減 【次年度の方針】 ・全教職員共通理解の下、いじめの防止・早期発見に努め、万が一いじめが発生した時には当事者達が納得するまで根気強くチームで対応する。 ・道徳科や学級活動などで、いじめや生命尊重、自他との関係を題材とした授業を行い、望ましい集団作りを心掛ける。</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 97.1% 数値指標より12.1ポイント増 昨年度より0.3ポイント減 【次年度の方針】 ・学年会の他、日常において不登校の兆候等児童に関する情報の共有化を進め、児童指導主任を中心に情報交換会をとおして全職員が係っていく。 ・不登校対策に関する教育センターの資料</p>

<p>⇒児童 85%以上</p> <p>A16 教職員は、外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>・個々の実態に応じた支援を組織的、計画的に行えるよう、支援委員会等を活用し、指導を行う。</p> <p>・日本語指導教師、日本語指導ボランティア等を活用するなど、必要に応じて専門的な立場の方を積極的に活用していく。</p>	<p>を有効に活用して、未然防止対応に努める。</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 100% 数値指標より15.0ポイント増 昨年度より2.7ポイント増</p> <p>【次年度の方針】 B ・児童が育った国の文化風習を理解し、個に応じた支援の方法を考え、学級や学年の児童を含めての指導を行う。 ・日本語指導に関する各種サービスを活用し、より円滑なコミュニケーションを可能とすることに努める。</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 「私は、今の学校が好きです。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・一人一人に応じた支援や場の設定を行い、よさを認め伸ばす指導・支援に誠意をもって取り組む。</p> <p>・地域の教育力なども活用しながら、児童の主體的な活動を推進し、児童が学校生活全体を通して、成就感や達成感を味わうことができるようにする。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 90.7% 数値指標より5.7ポイント増 昨年度より0.6ポイント増</p> <p>【次年度の方針】 B ・感染症に対する国の考え方をつかみ、学習や学校行事において、可能性を見極めながら、児童が生き生きとした学校生活を送ることを目指していく。</p>
<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・授業のねらいを明確にし、まとめや振り返り活動を適宜設けることで、育むべき資質・能力を明確にした学習活動を行い、学力向上に努める。</p> <p>・学習内容の工夫、指導法の改善、効果的なICT機器の使用、指導体制・指導形態の工夫を行い、より分かりやすい授業を展開することで、学力の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 98.0% 数値指標より13.0ポイント増</p> <p>【次年度の方針】 B ・今後も、ICT機器を効果的に活用し、授業展開や個に応じた指導を工夫していくとともに、まとめや振り返り活動を大切に行っていくことで、習熟度を高めたり学習意欲の向上を図ったりしていく。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>・全教職員が学校経営の理念・方針等を共通理解し、児童のよさを認め励ましながら、同一歩調で学習や諸活動の教育活動に取り組む。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 97.7% 数値指標より12.7ポイント増 昨年度より0.4ポイント増</p> <p>【次年度の方針】 B ・各自がそれぞれに持つ専門性を生かし合いながら、教育活動を充実させていくことで、チーム力を向上させていく。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>・学校スタッフの職務と勤務について共通理解を図り、学校の課題への対応や業務の効率的な実施に取り組めるよう、教職員の協働体制を構築する。</p> <p>・校務運営上、必要な情報を共有するための場を設定し、教職員と専門性を有する学校スタッフとの円滑なコミュニケーションを図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 95.3% 数値指標より 10.3ポイント増 昨年度より2.0ポイント減</p> <p>【次年度の方針】 B ・ICT化の流れにのり、互いのノウハウを提供しあったり、ICT支援員にアイデアや開発を依頼したりしながら、これを有効に活用して校務の効率化を図っていく。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p>	<p>・地域学校園のビジョンに基づいて、各小中学校と連携しながら学力の向上や豊かな心の育成、健やかな体の育成に努</p>	<p>【達成状況】 B 保護者の肯定的回答率 70.8% 数値指標より9.2ポイント減</p>

<p>【数値指標】 「学校は、小学生や中学生が交流活動を行っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>める。 ・小中あいさつ運動や保健指導、給食指導、図書館教育などにおいて、連携を図りながら指導にあたる。</p>	<p>昨年度より7.0ポイント増 【次年度の方針】 ・「とよさとの学び」を一貫教育の柱として、学習・生活・健康面の継続指導を心掛ける。 ・今年度再開した小中あいさつ運動を通して、児童が率先して挨拶ができるように働き掛ける。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒地域住民 85%以上</p>	<p>・地域の文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実させるために、年間計画の見直しや事前の計画的な準備、打合せを十分にもち、効果的な体験活動やふれ合い活動を進めて、地域を理解し親しむ児童を育てていく。</p>	<p>B 【達成状況】 地域住民の肯定的回答率 100% 数値指標より15.0ポイント増 【次年度の方針】 ・地域の文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実させるために、年間計画の見直しや事前の計画的な準備、打合せを十分にもち、効果的な体験活動やふれ合い活動を進めて、地域を理解し親しむ児童を育てていく。 ・コロナの状況をみながら、実施方法を工夫していく。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上</p>	<p>・校外学習を計画的に取り入れることにより、効果的な教育活動が展開できるようにする。 ・学校行事や授業において、学校と家庭・地域・企業等とが連携して、充実した教育活動を推進していく。</p>	<p>B 【達成状況】 保護者の肯定的回答率 87.6% 数値指標より2.6ポイント増 昨年度より2.8ポイント増 【次年度の方針】 ・校外学習を計画的に取り入れることにより、効果的な教育活動が展開できるようにする。 ・学校行事や授業において、学校と家庭・地域・企業等とが連携して、充実した教育活動を推進していく。</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>・毎月の安全点検を確実にを行い、危険箇所等については、迅速な修繕・改善を行う。 ・来校者、保護者の自家用車乗り入れ制限の周知や、学校開放等の行事での見回りの協力依頼など、地域・PTA・縁下会と連携・協力を図る。 ・HP・メール配信を利用し、児童の安全が最優先になるように連携・協力を呼び掛ける。</p>	<p>B 【達成状況】 保護者の肯定的回答率 91.3% 数値指標より11.3ポイント増 昨年度より3.5ポイント増 【次年度の方針】 ・毎月の安全点検を確実にを行い、危険箇所等については、迅速な修繕・改善を行う。 ・来校者、保護者の自家用車乗り入れ制限の周知や、学校開放等の行事での見回りの協力依頼など、地域・PTA・縁下会と連携・協力を図る。 ・さくら連絡網等を活用し、児童の安全が最優先になるように連携・協力を呼び掛ける。</p>
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・1人1台端末・デジタルカメラ・プロジェクタ、実物投影機等の各種ICT機器の整備、管理を行い、情報活用能力の育成を図る。 ・授業をはじめ様々な場面で、図書資料を気軽に活用できるような環境の充実を図る。</p>	<p>B 【達成状況】 児童の肯定的回答率 87.0% 数値指標より2.0ポイント増 昨年度より2.3ポイント減 【次年度の方針】 ・1人1台端末・デジタルカメラ・プロジェクタ、実物投影機等の各種ICT機器の整備、管理を行い、情報活用能力の育成を図る。 ・授業をはじめ様々な場面で、図書資料を気軽に活用できる環境の充実を図る。</p>

本校の特色・課題等	<p>B3 教職員は、学校課題等に関する研究に主体的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「教職員は、主体的に授業研究に取り組み、同僚性を育みながら、指導法の工夫改善に努めている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>・学校課題に基づいて、研究のねらいを明確にしながら互いの授業を参観し合い、指導法について意見を交わすことによって授業改善に取り組む。</p> <p>・高い自己研鑽意識に基づく主体的な自己研修と洗練された同僚性に基づく協働的なグループ研修の融合を図り、互いに学び合う職場づくりを推進する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 97.7% 数値指標より 12.7ポイント増 昨年度より 0.4ポイント増</p> <p>【次年度の方針】 ・次年度も一人一授業を継続して行う。学年による指導案検討が活発に行われ、充実した研修の場となっているので、互いにアイデアを出し合ったり、見えてきた課題の解決方法を探ったりしていく。</p>
	<p>B4 学校は、縦割り班活動や児童会活動などを工夫し、児童が、自分のよさや可能性を発揮し、他者と協調しながら充実した学校生活が送れるような取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、縦割り班活動や児童集会などのいろいろな活動で、みんなと協力しながら、進んで参加している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>・「自分たちが学級・学校をつくる」をテーマに、児童会や委員会活動、学級の係活動などの場で、児童の自主性や創造性、協働性を育む。</p> <p>・縦割り班活動や縦割り清掃を中心とした異学年交流を通して、リーダーシップとフォローシップ、互いに他を思いやる心などを育む。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 93.0% 数値指標より8.0ポイント増</p> <p>【次年度の方針】 ・児童の主体性や自主性を育むために、高学年児童への声掛けを積極的に行い、有用感や活動への達成感をもたせていく。</p> <p>・縦割り班活動を中心として、可能な範囲で異学年交流を充実させ、協働性や創造性を育む場の設定をしていく。</p>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

令和4年度「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートでは、肯定的回答（「とても思う」と「まあ思う」を合わせたもの）の割合が数値指標を達成した項目は、29項目中27項目であった。A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。（保護者）」の質問においては、肯定的回答割合が数値指標を9.2ポイント下回ってはいるが、保護者の肯定的回答割合を昨年度と比較すると7ポイントの増加が見られることから、概ね達成できたのではないと思われる。

令和3年度と令和4年度の全体アンケートにおける肯定的回答割合を比較してみると、A4「児童生徒は時と場に応じたあいさつをしている。（教職員）」、A12「児童生徒は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。（教職員）」、A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。（教職員・保護者・児童）」、B4「児童は、縦割り班活動や児童集会などのいろいろな活動で、みんなと協力しながら、進んで参加している。（教職員）」の質問で、5ポイント以上の増加が見られた。

令和4年度全体アンケートにおける豊郷中央小学校と宇都宮市全体の肯定的回答割合を比較してみると、A4「児童生徒は時と場に応じたあいさつをしている。（教職員）」、A5・A7「児童生徒は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。（教職員）」、A12「児童生徒は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。（教職員・児童）」、A20「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。（教職員）」、A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。（児童）」の質問で、5ポイント以上上回った。

A4「児童生徒は時と場に応じたあいさつをしている。」の肯定的回答割合が、教職員・保護者・地域住民・児童の全てにおいて昨年度より上回るとともに、宇都宮市全体より7ポイント上回っている（教職員）。これは、「えがお なかよし あいさつの花を 咲かせよう！」を合言葉に、普段から教職員・保護者・地域・児童が一体となって、気持ちのよい挨拶を心掛ける環境づくりに努めた結果と考える。特に、

今年度は、コロナ禍にあっても、卒業生が小学校に来て行う「小中あいさつ運動」や「宇都宮ブレックス」の Mascot「ブレッキー」を招待して地域協議会のあいさつ運動を行うことにより、児童の意識の高揚を図ることができた。

A14「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」A15「教職員は、不登校を生まないように、一人一人の児童生徒を大切に、児童生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」の質問では、教職員及び児童の肯定的回答割合が95%を超えているのに対して、保護者の肯定的回答割合が90%未満となっている。今後も引き続き、いじめ・不登校の兆候等児童に関する情報の共有化や事案発生時の組織的な対応に努めるとともに、保護者の肯定的割合が低かったことから、学校だよりや学校ホームページ、さくら連絡網等を通して、いじめゼロ強化月間や教育相談に係る取組の様子を積極的に情報発信していきたい。

A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。」の肯定的回答割合が、昨年度より5ポイント以上上回る（教職員・保護者・児童）とともに、宇都宮市全体より8.9ポイント上回っている（児童）。これは、コロナ禍にあっても、「小中あいさつ運動」や「豊郷中宮っ子チャレンジ」など、小中で連携した活動を中止とせずコロナウイルス感染症対策を講じながら工夫して行った結果と考える。

A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。」、A22・A23「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」、B4「児童は、縦割り班活動や児童集会などの色々な活動で、みんなと協力しながら、進んで参加している。」の質問では、概ね肯定的回答割合が増加している。これは、総合指導員さん（地域の先生）やPTAの方々のご支援のもと、地域の教育力を生かした児童が主体となって行う農業体験活動や、6年児童を中心に行った「とよリンピック」等が影響していると思われる。

教職員ではA12「児童生徒は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。」、保護者ではA9「児童生徒は宇都宮の良さを知っている。」、児童生徒ではB2「休み時間や放課後などに、進んで運動している。」の肯定的回答割合が最も低かった。一方で、昨年度と比較するとそれぞれに上昇傾向が見られるので、次年度の方針にある具体的な取組を継続して行っていく。

## 7 学校関係者評価

コロナ禍ではあったが、昨年に比べて地域協議会の活動を増やすことができた。多くの子供たちが楽しそうに参加してくれたので、やって良かったと思うし、やらなければいけないと感じた。来年度以降、コロナ禍前のように多くの行事が復活することを期待する。

学校は地域の方々に守られていることを強く感じる。地域協議会の重要な役割は、学校と地域を結び橋渡しとなること、地域の資源をいかに学校に取り込むかだと思ふ。来年度以降、地域のスペシャリストを巻き込んで活躍してもらおう場を増やしていくことが期待される。

学校評価では、A15, A17, A18, A19にあるように、担任だけでなく学校全体がチームとして一人一人の子供たちを良く見てくれている印象をもっている。豊郷中央小学校は市内1・2のマンモス校であるが、一人一人が埋もれることなく生き生きと活動している様子がある。

学校評価について、保護者と児童の評価や、保護者と教職員の評価に格差が出ている項目が見られる。コロナ禍で保護者が学校へ来る機会が減っていることも影響しているのではないかと。また、児童が家に帰ってから学校の様子を保護者へいろいろと話している結果だととれるので、これはこれで良いと思う。

A4「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」について、登下校時の子供たちの挨拶がすばらしい。放課後子ども教室等の際にも、子供たちがいつもきちんと挨拶をすることができている。これも学校や保護者の指導と、小中が連携して行う「小中あいさつ運動」や「地域協議会 あいさつ運動」等のお陰かと感じる。

A6「児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」に関連して、昨今いろいろな事件が増えてきているので、子供たちの安全を確保する方法について考えさせられることが多くあった。避難訓練の参観では、教室に鍵がないのでバリケードをつくっても犯人に中に入られると逃げられない状況が発生するこ

とや、教室に置いてある刺股が逆に犯人の武器になってしまうことがあることを、スクールサポーターの方から教えていただいた。

学校評価 A10, A25「児童生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」について、地域協議会での授業参観でも、1人1台端末を活用している授業が多くあった。授業の形が大分変わってきたことを感じた。端末を使い慣れている児童と使い慣れていない児童がいたので、先生方の指導も難しい一面があると思う。

A12「児童生徒は『持続可能な社会』について、関心をもっている。」について、なかなか分かりづらい内容ではあるが、徐々に児童の身に付いてきた気がする。学校で常日頃、これを意識した教育活動を行っている成果かと感じる。

学校評価 A21「学校は『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている（地域住民）。」の数値が若干下がっているのが気になった。地域住民については、他と比べて評価者の数が少ないことも影響しているか。また、コロナ禍で保護者や地域の人が学校へ来る機会が減っていることも原因と考える。来年度以降、改善することを期待している。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

コロナ禍における教育活動について、令和2年度からの3年間、様々な行事や活動が制限されてきたところであるが、次年度は創立150周年を迎える本校の歴史と伝統を踏まえ、「どのように工夫すればできるか。」を模索し、安全・安心に十分に配慮しながら児童の活動の場を積極的に確保していく。

児童や保護者、地域から愛される「開かれた学校づくり」に努めるとともに、地域の人々や地域の歴史、自然環境など地域の教育力を積極的に活用して、とよおう水田での自然体験活動や学区の大学、高校、幼稚園等との交流活動など、地域に根ざした「特色ある教育活動」の一層の充実を図っていく。

地域学校園の小中学校の交流活動や教員の相互授業参画を通して、義務教育9年間を見据えた教育の実践に努める。特に、「体力向上」「保健教育」「食育」「安全教育」の4つの教育分野に、地域学校園の共通理解のもと見通しをもって取り組んでいく。

GIGAスクール構想に基づいた授業づくりでは、1人1台端末を活用した「一斉指導による学び（一斉学習）」「子供たち一人一人の能力や特性に応じた学び（個別学習）」、「子供たち同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）」を推進する。また、それに必要な教職員や児童の情報活用能力の育成に全校体制で取り組んでいく。

日頃から児童同士が互いに認め合い励まし合うことのできる人間関係づくりに努めるとともに、全教職員が共通理解の下いじめや不登校の防止と早期発見に努め、いじめや不登校が発生した時には当事者の気持ちに寄り添って個別の支援を行ったり、迅速に関係機関と連携を図ったりしていく。

警察署や駐在所、教育ボランティア等と日常的に連携を図り、学校と関係機関、地域が一体となって、児童の健全な育成と安全・安心な環境の整備に努めていく。特に通学路の安全確保については、保護者及び見守りボランティアと連携するとともに、安全点検等を活用して、重点的に行っていく。

本校の学校運営の方針、教育活動の状況、学習指導、児童指導、健康・体力、本校の特色など、教育に係る情報を積極的に公表するとともに、地域や保護者からの声を学校運営に反映し改善を図りながら、学校と保護者、地域が協力・連携した教育活動の充実に努めていく。

学校評価において特に肯定的回答割合が低かった A9「児童生徒は宇都宮の良さを知っている。」 A12「児童生徒は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。」に関連して、「宇都宮の良さ」や「持続可能な社会」について宇都宮学や教科学習等の中で意識づけを図るとともに、得た知識を横断的な学習や実生活に生かせるような場の設定を行っていく。